



～はじめに～

2014年10月から稼働したJAXA新スパコンJSS2 (JAXA Supercomputer System Generation 2) は、2015年4月に第二期の稼働を開始致しました。

スーパーコンピュータ活用課では、2016年4月からの本格稼働に向けて、「ユーザの仕事効率化する高品質の支援を自ら考え提供する。」という品

質方針を掲げ、スパコンの有効利用を図ると共に、ユーザの要望に応える活動を行っていきます。実際の活動状況は、JSS2 ニュースやユーザ説明会などを通じて順次発信していきます。

今回は、JSS1 の利用実績と JSS2 での利用分野を紹介いたします。

JSS1 の利用実績

2009年の4月から2014年9月まで稼働したJSS1 の利用実績として、M (メイン) システムのCPU稼働状況を示します。

図1は「運用時間」とバッチジョブの「総割当時間」を表したものです。グラフが大きく下がっている所は2011年3月に発生した「東北地方太平洋沖地震」の影響によるものです。JSS では即時全システムの停止を行い、データ損失という最悪の事態は回避できました。その後、「JSS 地震対策チーム」を立ち上げ、計画停電などへの対応、

運用再開に向けた各方面との調整および技術的検討を行いました。

図2は、「CPU稼働率」(図1の「運用時間」に対する「総割当時間」の割合)を示しています。通常、CPU稼働率は、十分にジョブがある状況でも80%を保持することが難しいと言われていますが、JSS1 の年度別CPU稼働率は、初年度は83.60%となったものの、その後は92.70%から95.60%と、高水準を保っています。



図1 JSS1のMシステムのCPU利用状況

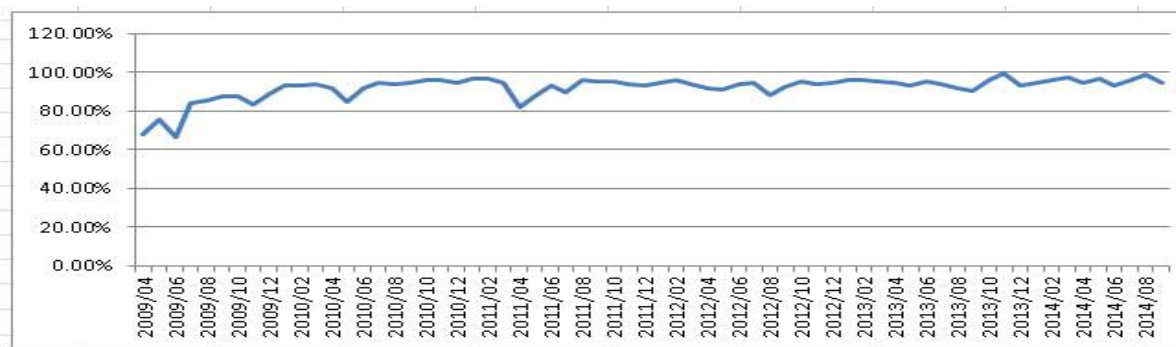


図2 CPU稼働率

JSS2 の分野別利用実績

JSS2 では、スパコン利用の透明化を図るために「事業別集計」の考え方が導入されました。ここでは2014年度分(10月～3月)の事業別集計結果に基づく分野

別利用実績を紹介いたします。詳細は、10月発行予定の、「平成26年度 JAXA スーパーコンピュータシステム利用成果報告書」で紹介させていただきます。

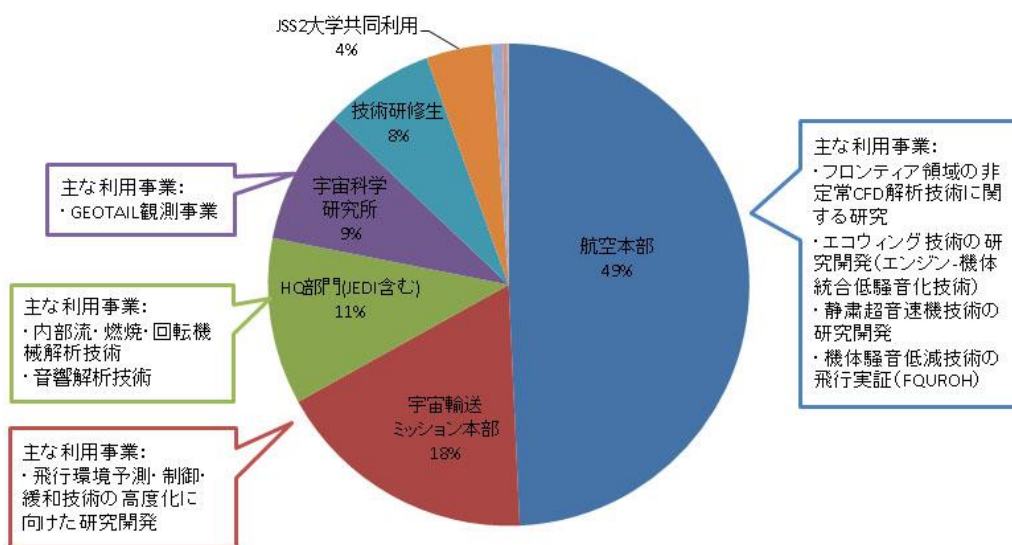
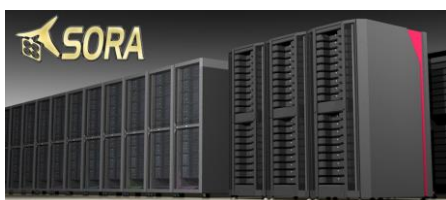


図3 分野別利用実績

その他

スパコン活用課ではスパコンの有効利用を図ると共に、ユーザの要望に応える活動を進めていきます。

JSS2 に関するご意見やご要望などがございましたら JSS 運用窓口までお知らせください。



お問い合わせ：セキュリティ・情報化推進部 スパコン活用課
 JSS 運用窓口：info@jss.jaxa.jp
 JSS2 公開 HP：https://www.jss.jaxa.jp/
 JSS2 ポータル：https://www2.jss.in-jaxa/
 ☆JSS News は JSS2 公開 HP でもご覧になれます。